

## 介護認定審査会委員 にしの みや子 の つぶやき

みなさん、認定審査会委員の にしのみや子です。  
まだ、厳しい寒さが続きます、調査員の皆様、体調にご留意ください。  
今回、パーキンソン病の方の調査票が気になるので、言わせてくださいね。



～ 今回のつぶやき ～

**「パーキンソン病の方の場合、  
ON・OFFのそれぞれの状態の詳しい記載がないので、  
介護の手間の判断がしづらくて、大変困っています。」**

パーキンソン病の方には、1日のうちで薬の効く時(ON)と効かない時(OFF)がみられる方、薬が効きすぎたジスキネジアの出現など、日差があることは専門家なので理解しています。

日差の症状のそれぞれに、どのような介助あるのかを詳細に記載していただかないと、審査会委員は介護の手間の総量の判断に毎回困っています。それぞれの症状に伴う手間の記載は、特記事項が多くなり大変と思いますが、審査会委員はしっかり読ませていただきますので、よろしくお願いします！

〈にしの みや子 より〉

審査会委員 にしのみや子さんのご意見を受けて、事務局より介護認定調査員の皆様には、以下のルールで特記事項に記載をしていただきますので、お願いいたします。

### ★ パーキンソン病の概況について★

概況には次の事項を簡潔に記載してください。

- ①パーキンソン病の発症の時期
- ②パーキンソン病による ON- OFF の有無・身体状況 等
- ③服薬の回数・間隔、薬効の時間 等
- ④ON- OFF がある場合、調査時が ON- OFF のどちらの状態を実施したか

例：8年前にパーキンソン病と診断を受け、抗パーキンソン病薬とリハビリを受けている。朝夜の1日2回服薬しており、ON- OFF があり起床時と夕方から下肢の動きが悪く、動作緩慢となり、移動や排泄動作等に時間がかかるが、できるだけ身の回りのことは自分でしたいと努力されている。調査時は、動作のしやすいONの状態を実施した。

### ★ 特記記載(1・2群)について ★

パーキンソン病による ON- OFF がある場合は、調査前1週間の状況から頻度で判断しますので、ON- OFF の状況・頻度・2群は必ずON- OFF のそれぞれの介助内容を記載してください。

例：2-2(移動) 日中の ON 時は、ふらつきがあるため所々壁を持ち、居間(2回/日)やトイレ(4回/日)に1人で移動する。起床時と夕方から就寝までの OFF 時は、下肢が前に行く、移動に時間がかかるため、トイレには早めに移動(2回/日)しており、1か月前に転倒していることから家族が見守りしている。



今回は、パーキンソン病の特記記載内容について例示しましたが、パーキンソン病以外の日差や1週間で変化がある場合でも、上記と同様の記載をお願いいたします。

今後も、審査会委員の“つぶやき”を受けて、調査員向け通信を作成していきます。審査会委員に読みやすい認定調査の資料づくりに、ご協力をお願いいたします。